

平成 23 年度東北地区大学図書館協議会 フレッシュ・パーソン・セミナー
グループ討議報告書

1. 日 時： 平成 23 年 11 月 17 日
2. 場 所： 東北大学附属図書館 2 号館 301 ゼミナール室 (2 班)
3. 出席者： 板垣彩佳 (岩手大学研究交流部情報メディア課)
佐藤ゆう (東北大学附属図書館情報管理課受入係)
齋藤栞 (山形県立米沢女子短期大学附属図書館) 【発表】
佐々木由樹 (東北学院大学中央図書館)
石賀香織 (東北文化学園大学図書館) 【司会】
永山裕美 (いわき明星大学図書館)
大友優香 (東北大学附属図書館工学分館整理・運用係) 【記録】
4. アドバイザー： 佐々木智穂氏 (東北大学附属図書館北青葉山分館)
5. 討議テーマ：
「図書館の企画・広報・PR—利用者に図書館をもっとよく知ってもらうために—」
 - (1) 自分の図書館で現在行っている企画・広報・PR について
 - (2) あなたが今後やってみたいと思う企画や広報活動のアイデアや、効果的な PR 方法とはどのようなものか
 - (3) (1) について問題点や改善点はあるか、(2) を行う上での課題や問題点は何か

6. 討議内容要旨

現状として、図書館をよく利用する学生には PR ができているといえるが、潜在的利用者に対するアピールが足りないのではないかとの意見が出された。

その打開策として、一般の利用者や中高生向けの企画を、図書館のみでの完結ではなく、教員や教務課等と協力して取り組んでいきたいという意見を中心に議論が進められた。

7. 討議内容詳細

まず、(1)「自分の図書館で現在行っている企画・広報・PR」について各自が事例紹介を行った。

○館内ツアー

- ・新入生向けの図書館ツアーを開催。(希望者にも利用案内のツアーを行っている)

○学内サークル・部活動、学生との連携

- ・学内のサークルに、テーマに沿って図書を選んでもらい、それらを入りに展示する。
- ・部活動による企画として、写真展や絵画展を開催する場として提供。
- ・司書過程を受講する学生アルバイトのお薦め図書の紹介。
- ・学生ボランティアが、配架整備やカウンター業務を行っている。
- ・学生選書を行っている。(学生に書店に行って選んでもらう)
- ・リクエスト BOX を設置し、学生が読みたい本や図書館への意見を投稿できる。

○掲示・案内

- ・学内用掲示板で新着図書やお薦め図書の紹介をする。
- ・入り口に TV を設置し、パワーポイントで作成した図書館の予定やお知らせなどをスライドショーで表示。
- ・月に一回図書館便りを発行している。(レファレンスの事例を載せるなど)
- ・図書館サービスを紹介した POP を作成して、利用者がよく座る席に設置。

○企画・その他

- ・情報検索講習会の実施。
- ・除却対象の図書など 3000 冊以上を古本市として提供した。
- ・企画展を開催し、貴重資料を展示。
- ・定期試験等で開館時間を延長。
- ・市内の公立図書館や大学図書館と連携して、どの図書館でも返却できる。

次に、討議テーマ (2) (3) について、併せて意見を出し合った。

- ・掲示板など、館内にあるものは、図書館に興味がある人でなければ見ないのではありませんか。(課題)
 - 必修授業のなかで先生方から利用の仕方について紹介してもらってはどうか。(提案)
 - 先生や大学の協力が得られるかどうか分からない。(課題)
- ・社会貢献を提言しているが、あまり身近とは言えない。(課題)
 - 中学生や高校生などが来られるような敷居の低い大学図書館にはできないか。(夏休みに親子で来られるようにするなど) (提案)
 - 中高生たちが興味を持って楽しめる企画にする必要がある。(課題)
- ・一般者向けの文献の検索方法や館内ツアーを行いたい。(提案)
 - 館内だけでなく、館外にもアナウンスが必要だが、困難である。(課題)
- ・図書館のサービスに対する要望についてのアンケートを取りたい。(提案)
 - 毎日来てくれる人に限定されてしまうのではないか。(課題)
- ・就活を行う 3、4 年生を対象として、就職課と連携を行ってサポートができないか。(新聞を提供するなど) (提案)
- ・図書の内容が専門的だと、職員でもわからない人が多い。(課題)
 - OPAC などのサイトや POP の掲示を用いて、図書を利用した人による図書のレビューを見られるようにしたい。(提案)
 - 感想を書いてもらうためのアプローチ方法が課題。(課題)

以上の意見を踏まえて、整理すると次のようになる。

■潜在的利用者 (①これから大学生になる世代 ②現在通っている学生のうち、利用が頻繁ではない人たち) を対象とした取り組みが必要である。

①これから大学生になる世代 (中学生・高校生) を対象に

- ・中高生向けの企画を実施したい。
- ・キャラクターを作成して図書館を身近なものにしたい。
- ・一般の利用者でも入りやすい図書館とするため、ツイッター等のツールを利用したい。

(理由) 学生となる前から図書館を利用していけば、大学図書館に興味を持つきっかけになるのではないか。

②利用が頻繁ではない学生を対象に

- ・教職員や教務課等とも連携した企画の実施を行いたい。
- ・学生の求めているものを理解しているといえる先生方にお薦めの図書や図書館活用法を提示してもらおう。

(理由) 図書館に来ない学生にも図書館に興味を持って貰えるチャンスである。

以上